国立健康危機管理研究機構
国際医療協力局
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

医療技術等国際展開推進事業
消化器内視鏡案件の概要

国立健康危機管理研究機構（JIHS）国際医療協力局
医療技術等国際展開推進事業事務局

西岡智子



Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

本日の発表

1. 医療技術等国際展開推進事業の概要
2. 消化器内視鏡と内視鏡診療の特徴
3. 医療技術等国際展開推進事業で実施された消化器内視鏡案件
4. アンケート調査とその結果

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

医療技術等国際展開推進事業

研修を通じた人材育成事業

日本の医療技術・製品を、医療ニーズが高く経済成長が見込まれる低・中所得国等に展開することで、国内の医療分野の成長を促進すると同時に、相手国の保健医療水準の向上に貢献する

研修実施

日本の実施機関：
企業、大学・
医療機関・NGO等

カウンターパート機関：
相手国の大学・
医療機関・学会等

成果分野とその内容

医療技術

- 知識の普及
- 研修教材作成
- ガイドライン作成
- 教育プログラム反映
- 現地人材による研修体制の構築

医療製品

- 規制当局による認可
- 保険適用
- 製品リストへの掲載
- 代理店の選定
- 現地予算による調達

事業目標

日本の医療技術・医療製品が現地で普及・定着する

相手国の公衆衛生・医療水準の向上を図る

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
Bureau of
JIHS Global Health Cooperation

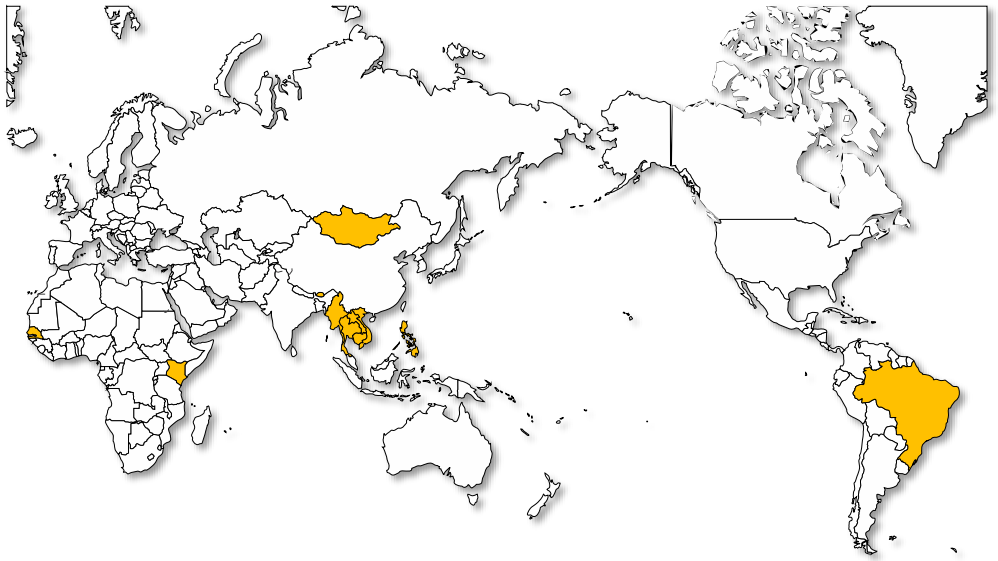
医療技術等国際展開推進事業
ー消化器内視鏡案件　実施国ー

【アジア】
タイ
モンゴル
ベトナム
フィリピン
ブータン
ラオス
カンボジア
ミャンマー

【アフリカ】
ケニア
セネガル

【中南米】
ブラジル

11カ国で実施



Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
Bureau of
JIHS Global Health Cooperation

本日の発表

1. 医療技術等国際展開推進事業の概要
2. 消化器内視鏡と内視鏡診療の特徴
3. 医療技術等国際展開推進事業で実施された消化器内視鏡案件
4. アンケート調査とその結果

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

消化器内視鏡の特徴

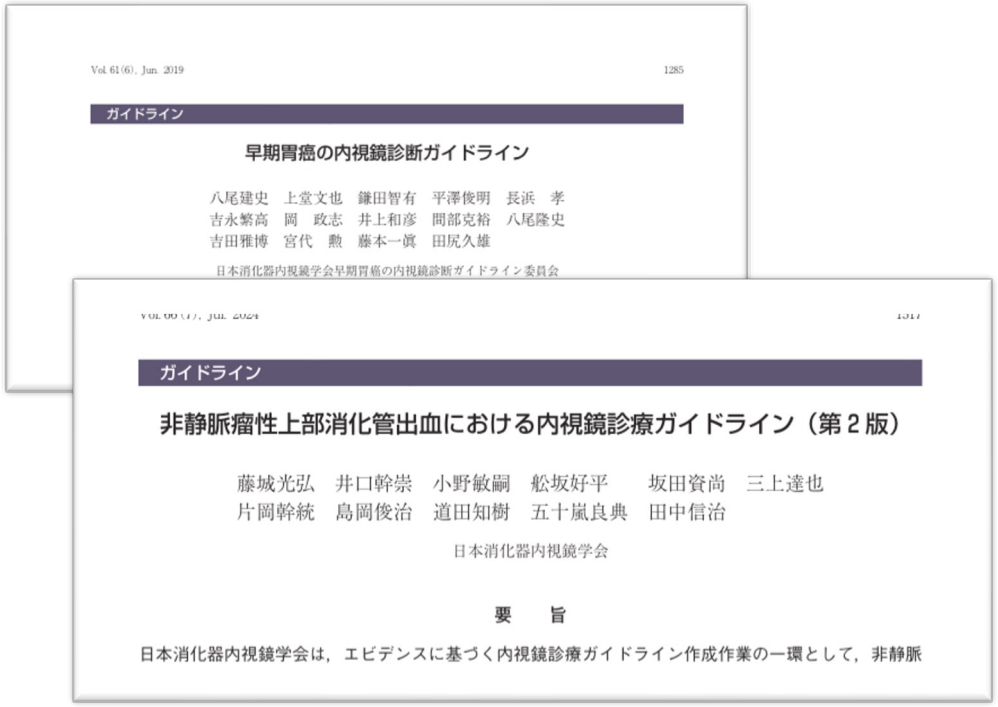
診断・治療・検診に活用

保険診療対象技術

【日本の場合】
保険収載リスト（診療報酬点数表）掲載

胃・十二指腸ファイバースコピー	1,140点
大腸内視鏡検査	
ファイバースコピーによるもの	
S状結腸	900点
下行結腸及び横行結腸	1,350点
上行結腸及び盲腸	1,550点

ガイドラインの整備



Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

消化器内視鏡の特徴
精密機器の集合体

メンテナンス

日常点検から定期保守点検、修理・部品交換まで専門的なメンテナンスが必要

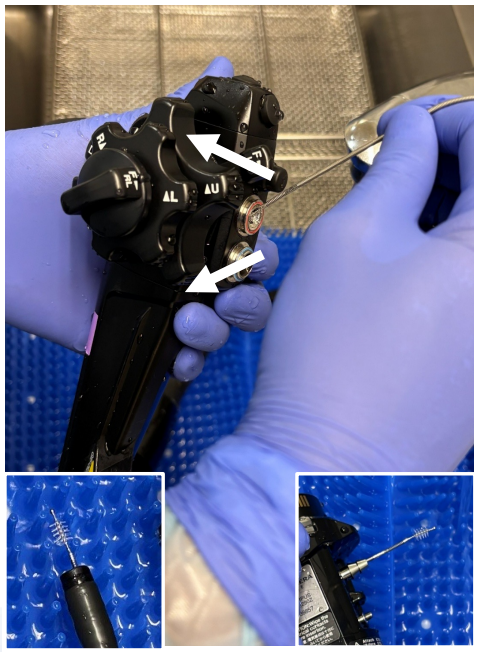
消耗品や部品交換

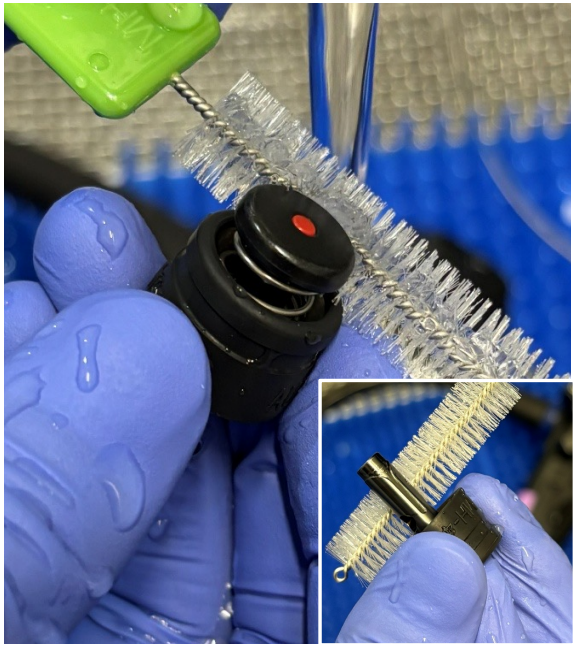
定期的に交換するもの
（例）

- 吸引ボタン
- 送気送水ボタン
- Oリング
- 鉗子栓
- 先端キャップ
- 水ボトルチューブ



細部にわたる洗浄消毒





Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

消化器内視鏡の特徴

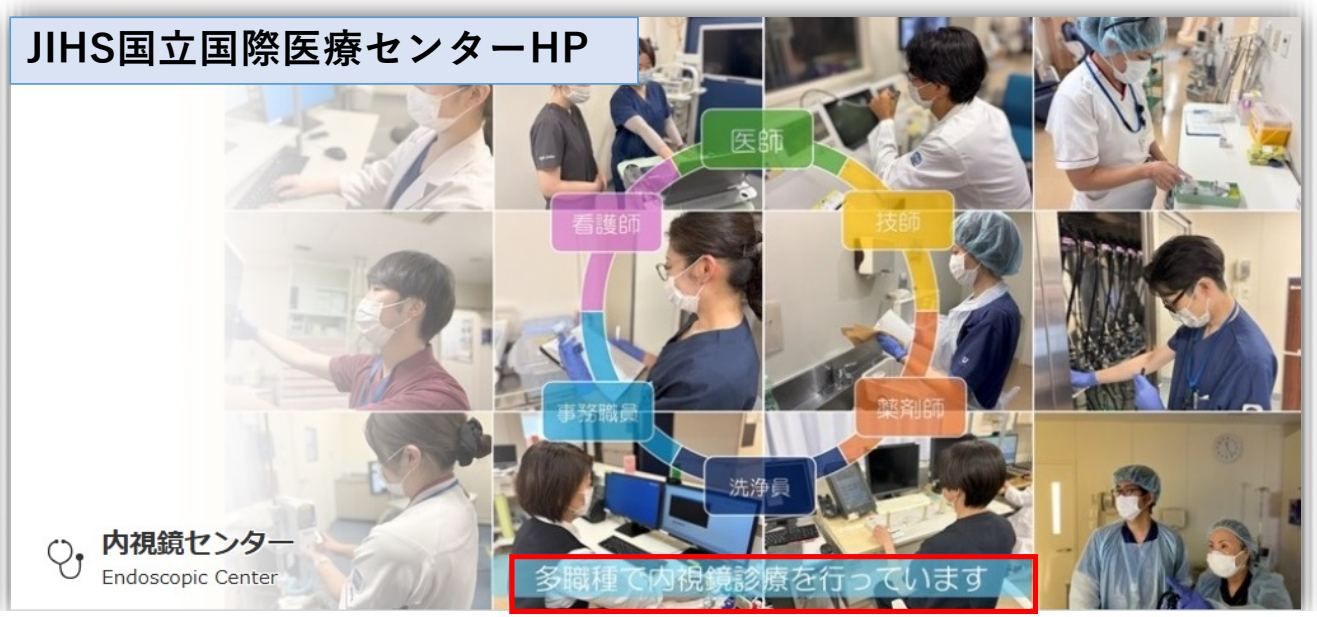
多職種連携による診療体制

多岐にわたる業務

【診療前後の患者対応】
- 患者確認、検査室・前処置室への入出管理、文書管理
- 介助、鎮静患者の観察、記録
- 検査後、鎮静患者のリカバリー室での安静解除

【洗浄消毒・機材管理】
- 感染対策
- 医療機器の保守点検

【薬剤調整・検体処理】
- 鎮静剤等薬剤調整
- 採取された検体の処理



当内視鏡センターでは消化器内科・外科、呼吸器内科・外科の医師と第二外来所属看護師、臨床検査技師(専従の消化器内視鏡技師)、薬剤師、診療放射線技師、事務員、洗浄員など多職種で診療を行っております。最新の機器を導入し、適切な保守管理のもと、安心で安全な最善の医療を提供しております。また、感染管理も徹底しており、安心して内視鏡診療を受けられるように尽力しております。

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
Bureau of
JIHS Global Health Cooperation

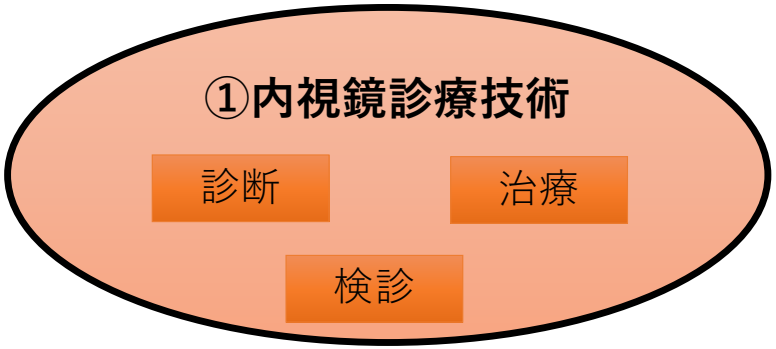
本日の発表

1. 医療技術等国際展開推進事業の概要
2. 消化器内視鏡と内視鏡診療の特徴
3. 医療技術等国際展開推進事業で実施された消化器内視鏡案件
4. アンケート調査とその結果

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

消化器内視鏡案件で実施した活動

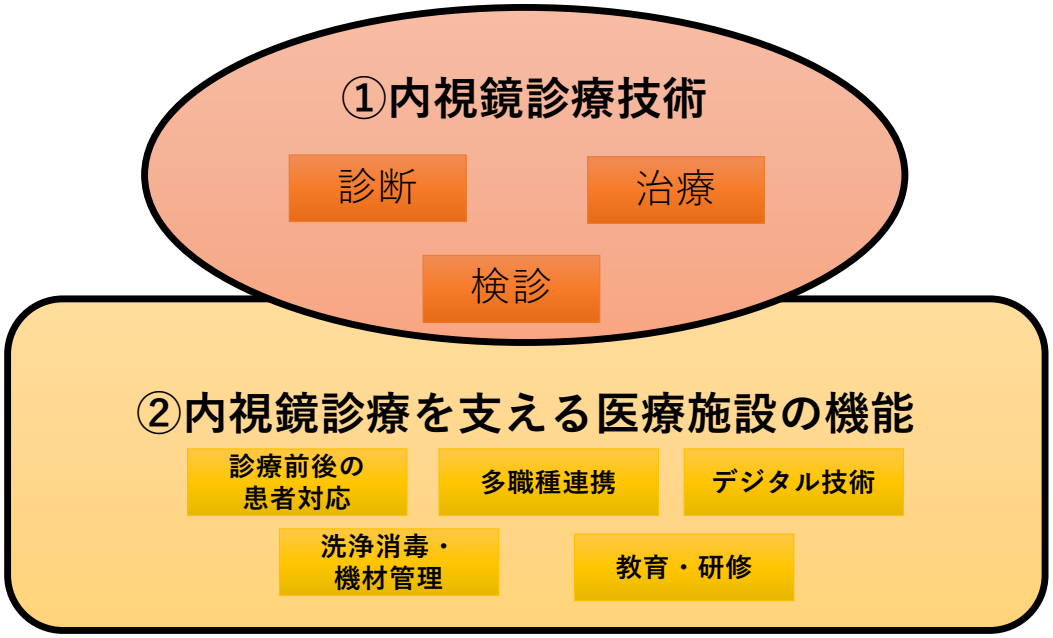
Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation



Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

消化器内視鏡案件で実施した活動

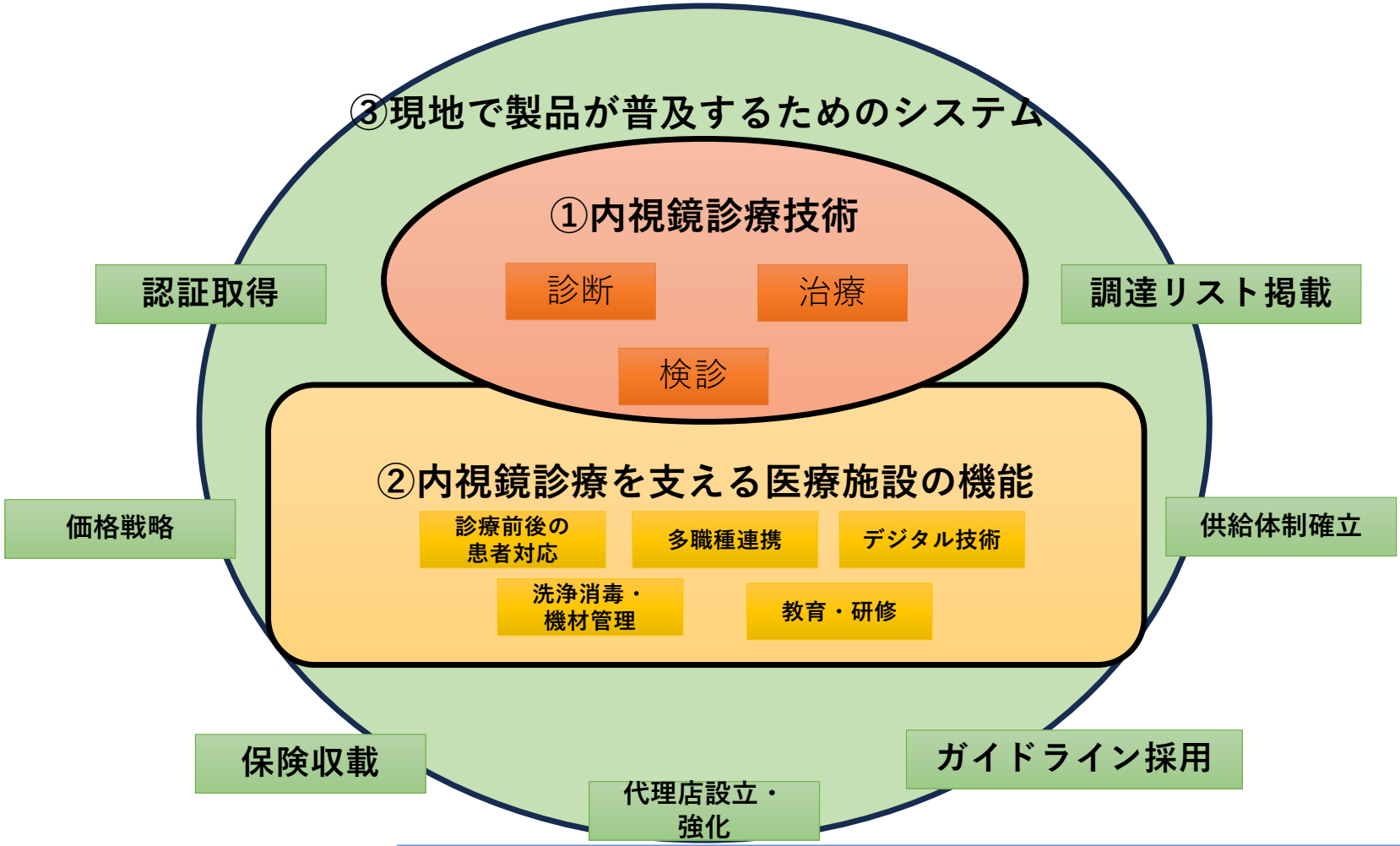
Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation



Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

消化器内視鏡案件で実施した活動

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation



Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
Bureau of
JIHS Global Health Cooperation

本日の発表

1. 医療技術等国際展開推進事業の概要
2. 消化器内視鏡と内視鏡診療の特徴
3. 本事業で実施された消化器内視鏡案件
4. アンケート調査とその結果

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

アンケート調査

- 2015-2025年に消化器内視鏡の技術を扱った21案件対象
（技術移転に資する研修をしていない案件は対象外とした）
- うち連絡先不明5案件
- 回答は14案件/16案件（回答率86.7%）

- アンケート内容は３分野と案件終了後について

1. ①内視鏡診療技術
2. ②内視鏡診療を支える医療施設の機能
3. ③現地で製品が普及するためのシステム
4. 事業終了後の現地の状況

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

アンケート結果概要

対象病院・使用機器・対象職種

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

対象病院のレベル

（複数回答可）

①一次医療施設

1件

②二次医療施設

5件

③三次医療施設

13件

三次医療が圧倒的多数（13件）

使用した内視鏡

①上部消化器内視鏡
12件

②下部消化器内視鏡
10件

③その他（ERCP、十二指腸鏡等）
4件

①②両方実施
9件 / 12案件

対象国の事業対象職種

職種	対象
①内視鏡医	10
②外科医	9
③内科医	7
④内視鏡技師	3
⑤内視鏡看護師	4
⑥看護師	3
⑦技師	1

三次医療施設が中心

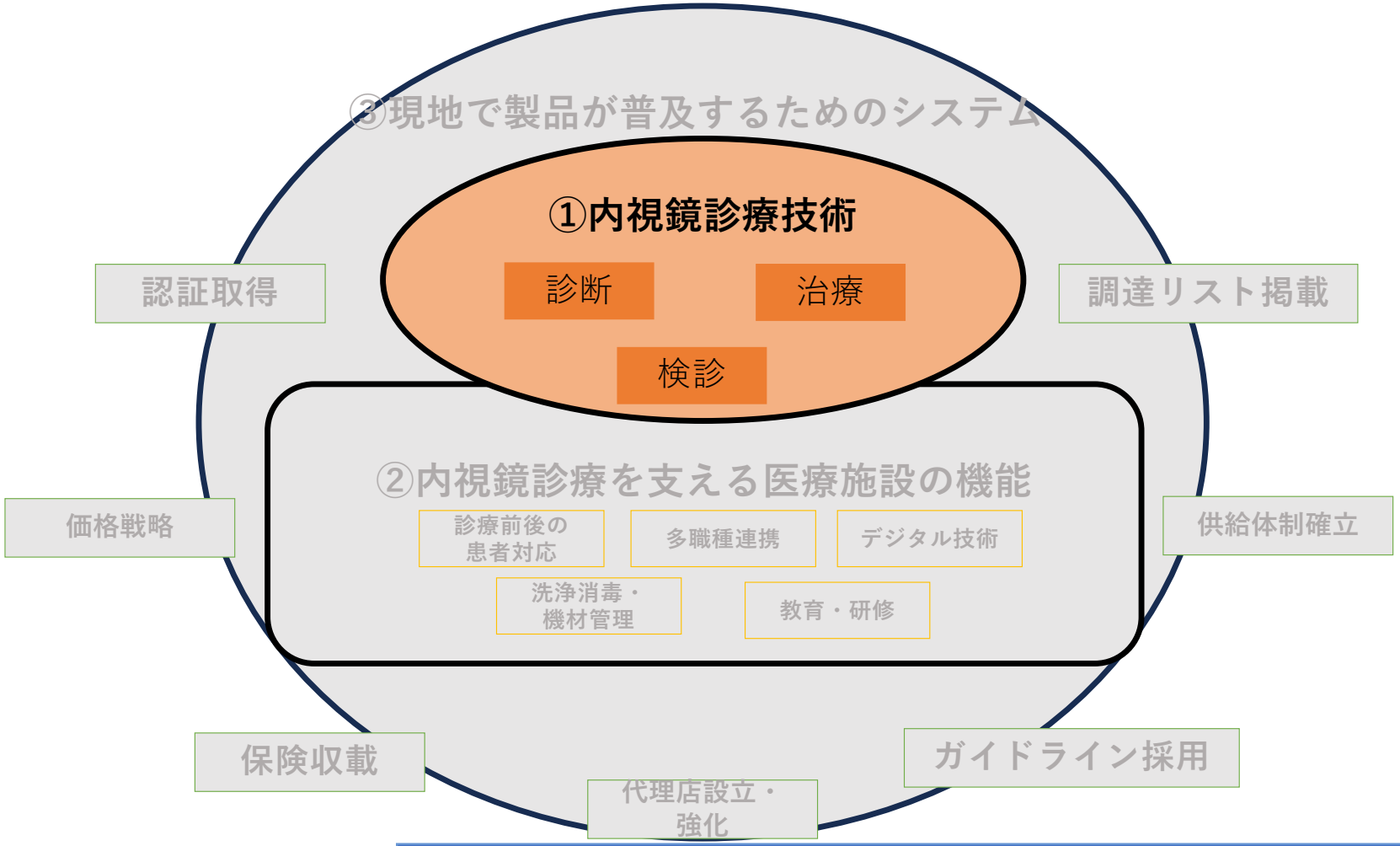
上部・下部内視鏡の両方を扱う案件が多い

内視鏡医が最多対象職種

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

消化器内視鏡案件で実施した活動

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation



Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

アンケート結果概要

内視鏡診療技術で扱った分野

①診断（13件）	②治療（13件）	③検診（7件）
• 基本操作・挿入法（11）	• EMR※（12）	• 地域住民への啓発（3）
• がん診断 (9)	• ESD※（10）	• 健診センターの設立（2）
• 拡大観察/画像強調（10）	• 早期がん治療 (9)	• がんセンターでの健診
• 内視鏡スクリーニング(8)	• ポリープ切除 (9)	
• ERCP※ (10)	• ERCP※（7）	
• ピロリ採取(2)	• 止血法（5）	

課題

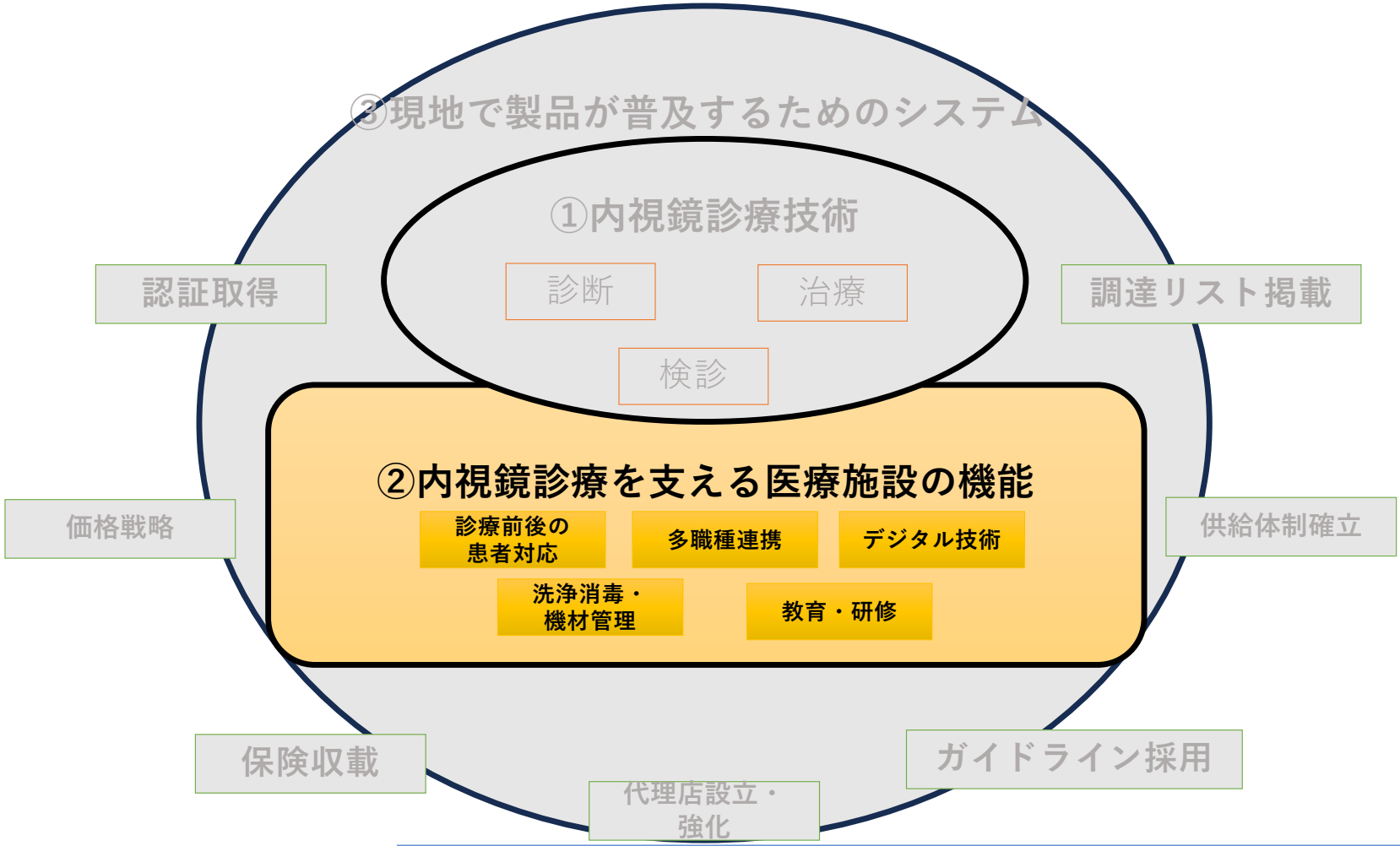
- 診断技術・症例・経験不足
- 技術の標準化、ガイドライン欠如
- 専門医を含め人材不足
- 教育体制・継続的な研修体制の欠如
- 病理体制の不備

※EMR:内視鏡的粘膜切除術
ESD:内視鏡的粘膜下層剥離術
ERCP：内視鏡的逆行性胆管膵管造影

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

消化器内視鏡案件で実施した活動

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation



Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

アンケート結果概要

内視鏡診療を支える医療施設の機能

①洗浄消毒/機材管理（9件）	②診療前後（9件）	③多職種連携（7件）	④デジタル分野（7件）	⑤教育研修（8件）
• 洗浄消毒(7) • 機材メンテナンス(5) • 医療機器適正使用(6)	• 患者の前処置・後処置(4) • ピロリ菌解析・診断(4) • 病理(4)	• 役割分担・連携（7） • 合同カンファレンス(6) • 病院間ネットワーク(6)	• 遠隔医療(5) • 機器配置・接続(5) • 診断AI活用(1)	• 継続教育システム構築(6) • カリキュラム貢献

課題

①多職種を含めた継続教育の不足

②機材・修理を含めた予算不足

③院内の連携不足、合同カンファ定例化せず

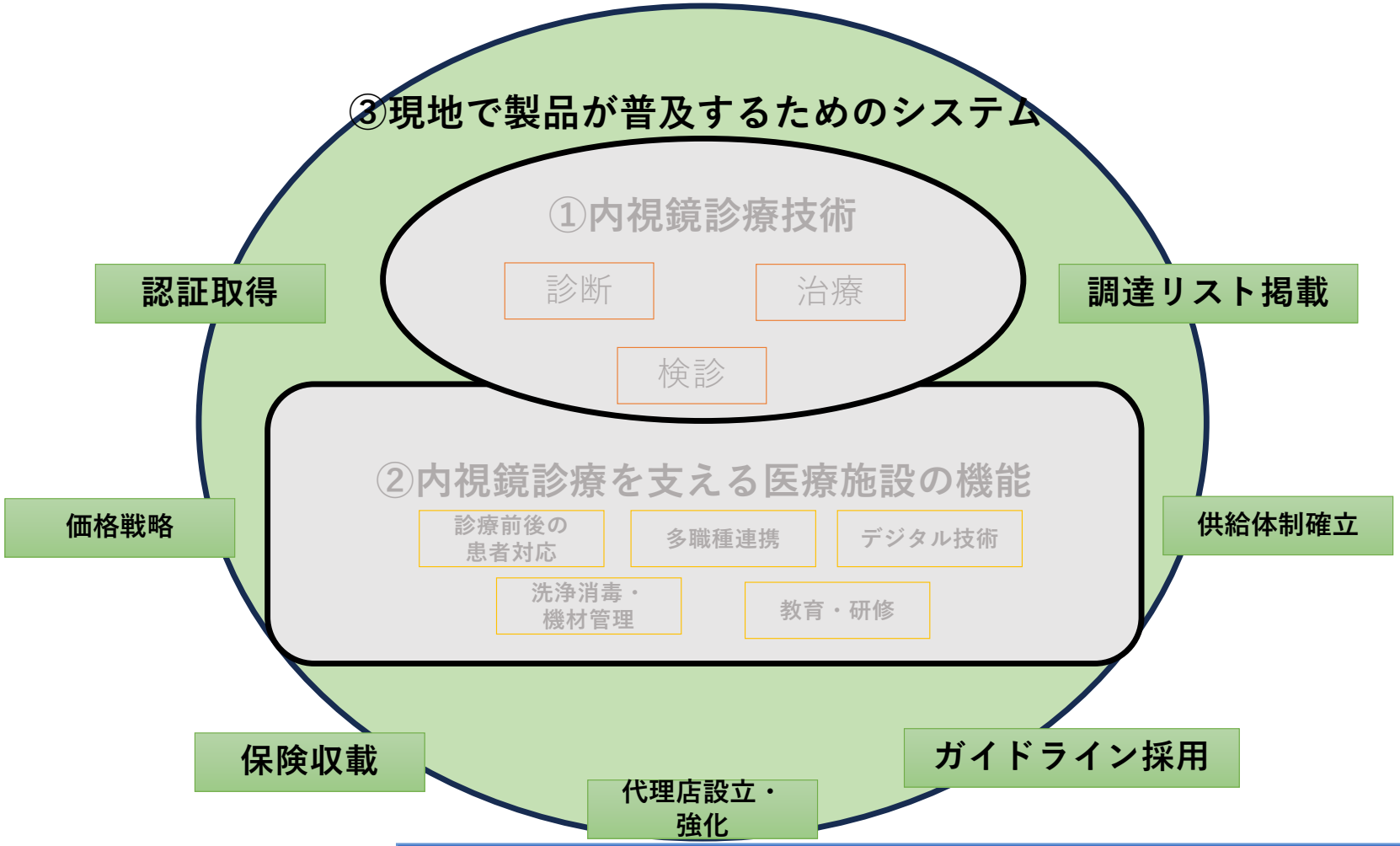
④公立・民間の連携不足、遠隔教育体制が不十分

⑤鎮静剤アクセスの難しさ、非鎮静の方針

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

消化器内視鏡案件で実施した活動

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation



Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

アンケート結果概要

現地で製品が普及するためのシステム

実施中・実施後の成果

	認証取得	保険収載	ガイドライン（診断治療）	調達リスト掲載	代理店設立・関係強化	消耗品・修理へのアクセス
①内視鏡（スコープ含む）	4	3	ー	2	1	1
②内視鏡周辺機器	1	1	ー	0	0	1
③消耗品	1	1	ー	0	0	1
合計	6（４案件）	5（３案件）	４案件	2案件	１案件	１案件

	はい	内容
製品の売上状況を把握している	6	売り上げ計上は1850万円 20%前後売上が増加

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

アンケート結果概要

現地で製品が普及するためのシステム

日本製品のさらなる展開を見据えた課題

【内視鏡技術の有用性・必要性をめぐる課題】

- 技術の必要性・重要性の認識不足　→　内視鏡製品の需要の低さ

【価格をめぐる課題】

- 品質と価格のバランス
- 現地予算に見合う製品紹介
- 修理予算の高額さ
- 現地の予算化の課題

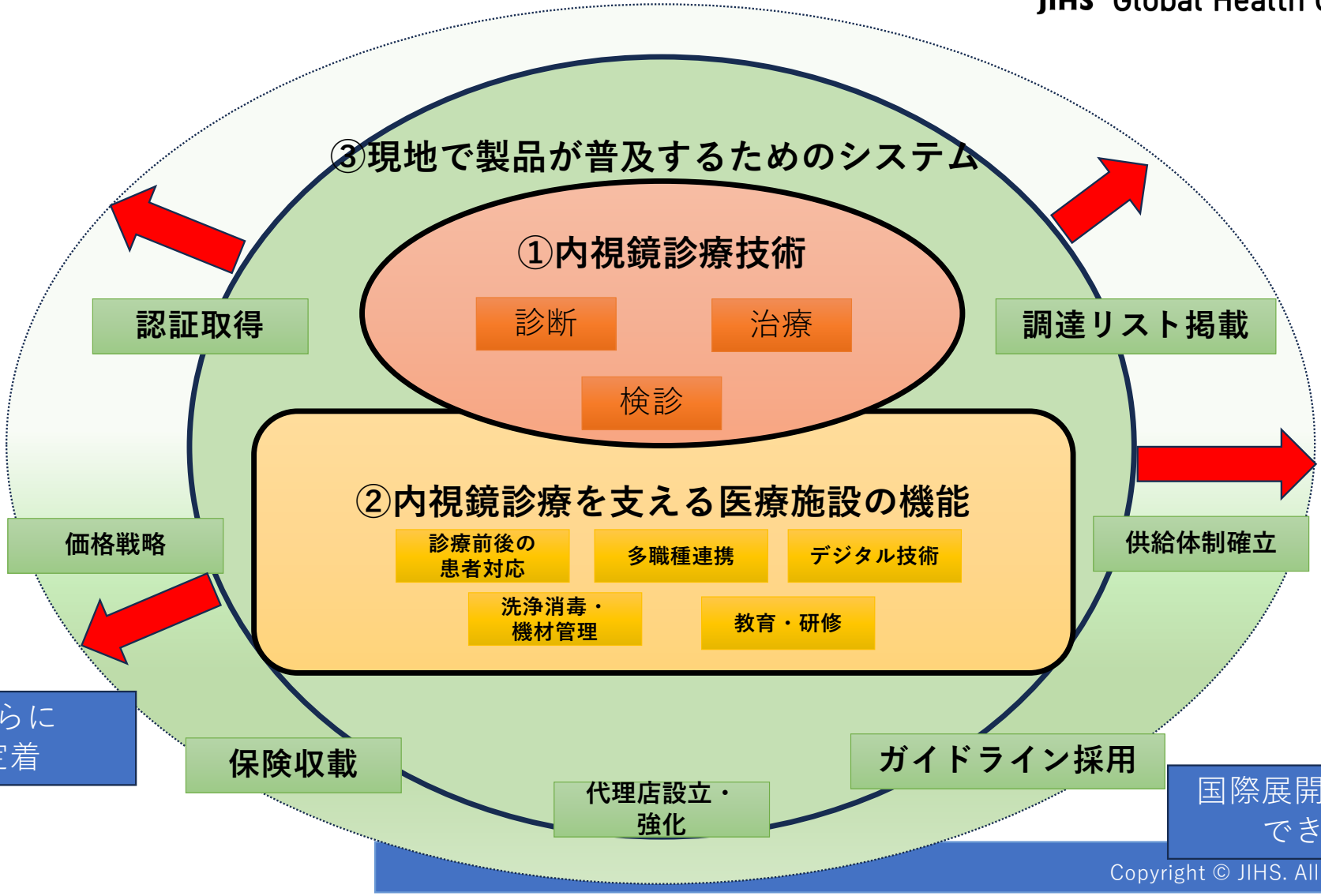
【供給体制をめぐる課題】

- 修理体制・消耗品供給体制の不足・欠如

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

消化器内視鏡技術が現地で展開・普及・定着するため要素

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation



現地でさらに拡大・定着

国際展開推進事業でできること

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.

Japan Institute for Health Security
JIHS Bureau of Global Health Cooperation

まとめ

- 2015年から本事業で消化器内視鏡を扱った案件から、活動には①内視鏡診療技術、②内視鏡診療を支える医療施設の機能、③現地で製品が普及するためのシステムの３つの要素があることがわかった。

- ３つの分野でそれぞれ課題があり、それぞれ以下の通り
  ①症例・経験不足、ガイドライン不在、継続教育が十分でない
  ②継続教育の不足、修理・機材用予算不足、院内、院外での連携不足
  ③対象国で内視鏡医療の重要性が理解されていない、製品価格の設定や供給体制をめぐる課題

Copyright © JIHS. All Rights Reserved.